

ドイツ語ドイツ文学専攻

修士論文  
執筆要領

(2025 年度版)

## 内容

1. 提出.....	1
1. 1. 正本（教務課提出用）.....	1
1. 2. 副本（ドイツ語圏文化学科事務室用）.....	2
2. 論文の構成.....	2
3. 書式.....	3
3. 1. タイトルページ.....	3
3. 2. 目次.....	3
3. 3. 本文.....	3
3. 4. 章・小節の題（見出し）.....	4
3. 5. レジюме.....	4
3. 6. その他.....	4
4. 執筆上の注意.....	5
5. 「引用」・「参照」・「脚注」・「参考文献」について.....	5

### 1. 提出

- 提出期限：2026年1月13日（火）16時まで（教務課）  
14時まで（事務室）
  - これは、事務手続き上の最終期限です。もっと早く提出するように心がけてください。
  - 提出物に間違いがないか事前にチェックする必要がありますので、正本、副本ともに必ず事前に学科事務室に持ってきてください。
- 提出場所：教務課（正本）およびドイツ語圏文化学科事務室（副本）
  - 提出に際しては印鑑が必要です。絶対に忘れないで下さい。

#### 1. 1. 正本（教務課提出用）

- 学科事務室にて配布するファイルにとじて提出。
  - このファイルの表紙にも、後述する「タイトルページ」と同じ内容の情報を印刷して貼ってください。また、背表紙にタイトルと氏名を書いて貼ってください。

【日本語で書く場合、以下のもの全てに穴を空けて、ファイルにとじる】

- 1) ドイツ語レジュメだけをホッチキスでとめたもの
- 2) ドイツ語レジュメ
- 3) 日本語レジュメ
- 4) 論文（タイトルページ、目次、本文、参考文献一覧 [+資料]）

【ドイツ語で書く場合、以下のもの全てに穴を空けて、ファイルにとじる】

- 1) 論文（タイトルページ、目次、本文、参考文献一覧 [+資料]）だけをクリップでとめたもの
- 2) 日本語レジュメ
- 3) 論文（タイトルページ、目次、本文、参考文献一覧 [+資料]）

## 1.2. 副本（ドイツ語圏文化学科事務室用）

- 副本は、2部提出します。
- 以下の順番で、学科事務室で配布する緑色のファイル（FLATFILE OSFE-A4S-G）にとじて提出。
  - このファイルの表紙にも、後述するタイトルページと同じ内容の情報を印刷して貼ってください。また、背表紙にタイトルと氏名を書いて貼ってください。

【日本語で書く場合、以下のもの全てに穴を空けて、ファイルにとじる】

- 1) ドイツ語レジュメ
- 2) 日本語レジュメ
- 3) 論文（タイトルページ、目次、本文、参考文献一覧 [+資料]）

【ドイツ語で書く場合、以下のもの全てに穴を空けて、ファイルにとじる】

- 1) 日本語レジュメ
- 2) 論文（タイトルページ、目次、本文、参考文献一覧 [+資料]）

## 2. 論文の構成

- 論文は、「序論」 - 「本論」 - 「結論」の3部から構成されます。例えば論文が5章から成る場合は、第1章が序論、第2章～第4章が本論、第5章が結論となります。
- 「序論」では、研究対象の定義、研究対象に対する概観、研究の方法（分析法）、そして問題提起（何を明らかにしたいのか？）等を述べます。
- 「本論」では、「序論」で述べた方法で研究対象について分析・論述をします。最後に「結論」では、「序論」で示した問題提起に対する答えを示します。

(過去の修士論文は、学科閲覧室のキャビネット内に保管されています。自分自身のテーマに近いものをいくつか見ること、論文構成についての具体的なイメージがつかめるので、一度見てみることをお勧めします。)

### 3. 書式

#### 3.1. タイトルページ

- タイトルページには、以下の情報を記載します。
  - 「2025 年度 修士論文」(中央寄せ、14 ポイント)
  - 「日本語タイトル」(中央寄せ、20 ポイント)
  - 「日本語副題」(中央寄せ、14 ポイント)
  - 「ドイツ語タイトル」(中央寄せ、20 ポイント)
  - 「ドイツ語副題」(中央寄せ、14 ポイント)
  - 「学籍番号」(右寄せ、16 ポイント)
  - 「氏名」(右寄せ、16 ポイント)
  - 「指導教授名」(右寄せ、16 ポイント)

※ドイツ語で執筆する場合、日本語のタイトルは必要ありません。

※副題がないときには、メインタイトルの後に「。」や「.」を付けないでください。

※副題があるときには、日本語のメインタイトルと副題のあいだ(副題の両側にはない)に一つの「—」(全角ダッシュ、U+2014)を付けます。ドイツ語のメインタイトルの終わりには「.」を付け、半角を空けたうえで副題を書きます。副題の終わりに「.」は付けません。

#### 3.2. 目次

- 「本文」中の各章・小節の題とその章・小節が始まるページを、日本語なら「MS ゴシック」、ドイツ語なら「Arial」で、いずれも 10.5 ポイントで書きます。
- 論文のページ番号は、目次を 1 ページ目として始めます(表紙にはページ番号をつけません)。

#### 3.3. 本文

- 執筆枚数(表紙・目次・参考文献リスト・資料を除く)
  - 日本語で書く場合：A4(40 字×30 行)で 34 枚以上
  - ドイツ語で書く場合：A4(半角 80 字×30 行)で 34 枚以上

- 余白：上下左右に 30mm ずつ
- 書式：日本語なら「MS 明朝」あるいは「游明朝」、ドイツ語なら「Times New Roman」で、いずれも 10.5 ポイント
- ページ下部中央に、ページ番号を算用数字でつけます。
- 句読点
  - 和文：全角の「、」と「。」
  - 欧文：半角の「,」と「.」
- カッコ
  - 和文：全角の各種カッコ
  - 欧文：半角の各種カッコ
  - 和文中であっても、欧文を引用する場合やドイツ語の文献名を挙げる場合には、半角のドイツ語入力の引用符（„“）[99,66] を使ってください。

### 3.4. 章・小節の題（見出し）

- 各章・小節の題は、日本語なら「MS ゴシック」、ドイツ語なら「Arial」で、いずれも 12 ポイントで書きます。
- 章・小節の題と本文とは、10.5 ポイントで 1 行分空けます。

### 3.5. レジюме

- 執筆枚数：日本語、ドイツ語、ともに A4 で 2~3 枚程度。
- レジюмеの本文の書式は上述「2.3. 本文」のドイツ語で書く場合の書き方にあわせてください。
- レジюмеには、日本語／ドイツ語それぞれの論文タイトルと氏名を記載します。下記の情報を行目から、上から順に記載します。
  - 「日本語／ドイツ語タイトル」（中央寄せ、12 ポイント）
  - 「日本語／ドイツ語副題」（中央寄せ、10.5 ポイント）
  - 「学籍番号」（右寄せ、10.5 ポイント）
  - 「氏名」（右寄せ、10.5 ポイント）
- 氏名に続けて 1 行スペースを空けて、本文を始めてください。
- 本文とは別に、レジюмеだけでページ番号をつけます。

### 3.6. その他

論文は片面印刷します。

#### 4. 執筆上の注意

- 扱うテキストは、ドイツ語原典があるものについてはドイツ語で読むこと。
- 執筆にあたっては、執筆者自身の考察部分であるのか、先行研究に依拠した「引用」の部分であるかをつねに区別してください。
  - 本文中、脚注中を問わず、引用する場合には、出典とページ数を明記する。
  - 参考文献（インターネットによる情報も含む）に書かれた言葉を、出典を明記しないで書くことは無断引用であり、剽窃行為にあたります。
- いったん提出した論文は、あとになって別のものと差し替えることはできません。内容上の問題だけでなく、誤字脱字もふくめて、何度もよくチェックした上で提出してください。
- ドイツ語で書く場合、それぞれの単語のあいだだけでなく、ピリオドやコンマ、カッコ（閉）のあとにも半角スペースを入れ忘れないようにしてください。  
良い例) Das 1. Buch Mose (Genesis) fängt mit der Schöpfung des Lebens im Garten Eden an.  
悪い例) Das 1.Buch Mose (Genesis)fängt mit der Schöpfung des Lebens im Garten Eden an.

#### 5. 「引用」・「参照」・「脚注」・「参考文献」について

別添の「参考文献の表記方法」（2025年度版）を参照し、その指示に従うこと。